

くぬぎ林

平成28年3月1日

西高

発行
愛知県立一宮西
高等学校 PTA
一宮市萩原町
串作字河田1番地
第130号



2の4 「~~オズ~~の魔法使い」
才

予餞会

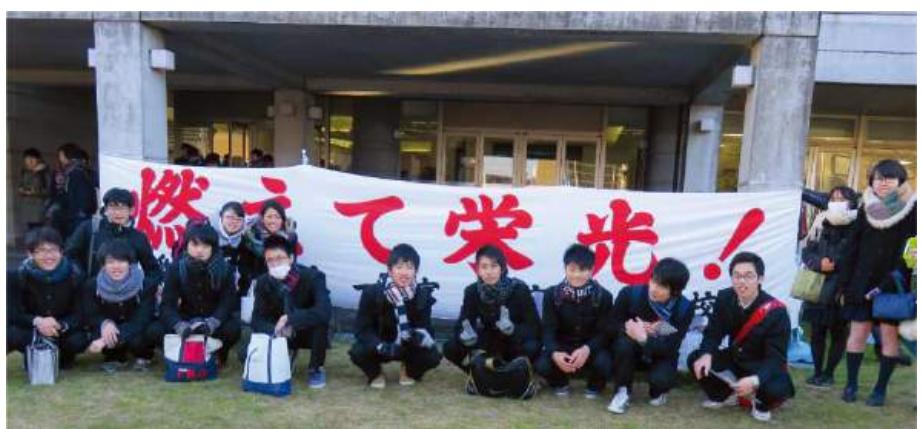
1月21日（木）



1の1 合唱

センター試験

1月16日（土）・17日（日）



卒業生の皆さんへ

PTA副会長 中村 誠一郎



に、この西高の門をくぐつたことが、つい昨日のように感じられます。皆さんは、最初の年に「誇り・自信・夢」「西高半世紀の伝統と挑戦を胸に」のキャッチフレーズの下、「西高創立五十周年」という大きな節目を迎えました。先輩たちが築き継承してきた西高の歴史と伝統の重みを肌で感じ、改めて西高生としての自覚を持つたことでしょう。

そして、鈴木前校長先生が、このようなことを言つていました。「二兎も追う者は一兎をも得ず」と言いますが、西高生は「三兎も追う者は三兎とも得る」これが西高であり、西高生の力である。私は、「学業」、「スポーツ」、「学校行事」をすべて自分たちのものにするという何とも無茶なことをと思ひました。しかし、皆さんは毎日勉学に取り組み、部活動に打ち込み、さらには学年の垣根を越えて作り上げる西高祭など行事にも積極的に参加し、充実した時間を皆と過ごし、達成感に満ち溢れていたと思います。

こうした高校時代に培った経験や、同じ目標を持ち切磋琢磨し合った友人、そして先生や先輩、後輩、すべてが一生の思い出であり、また、この激動の社会を生き抜いていくための大きな心の支えとなるはずです。決して忘れないで下さい。

ところで、ある雑誌の一節に、日

時代を創る人となれ

校長 井中 宏史



A portrait of a man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left. The background is a plain, light color.

卒業生の皆さん、そして、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。50回生として入学された皆さんは、愛知スープライングリッシュハブスクールの第一期生として、オーリングリッシュの先進的な授業に取り組み、また、本校創立50周年の大事業を、先輩たちと一緒に経験しました。

3年生になつてからは、第二体育馆の取り壊しと新しいコートの完成を見届け、第50回を冠した西高祭をリードし、そして本日第50回卒業式を迎えたのです。ま

皆さん、これからも常に目標を持ち、それに向かってチャレンジして下さい。自分の持つ力を信じて下さい。そして、その繰り返しが、きっと社会に必要な力となるはずです。これからの方々のご健闘をご活躍を心からお祈りします。

最後になりますが、校長先生を始め、諸先生方には絶えず子供たちに熱心なご指導をいただきました。心より感謝し、保護者を代表して深くお礼を申し上げます。

さに本校の歴史の節目に立会い、その大切な一ページをともに作り上げてきた仲間「50回生」であることは、一生忘れ得ないことであります。本校は、ある意味、特別な学校です。文武両道を掲げる学校はあります。またあります、ここまで学校行事が多く(4日間の西高祭、丸二日の球技大会×2、さらに予餉会)、夏休みの最後の10日三年生が中心となつて学祭準備に明け暮れ、それでいてこれほど宿題や補習(そもそも毎日7時間の授業)を行い、さらには正月からほとんどの生徒が登校して勉強する学校が他にありますようか。どちらかだけの学校なら他にもあるかもしれません。私と一緒に転勤してきたある先生が、体育館に集合する早さに驚いていました。前から西高にいる先生からは、多少の不満も残る、当たり前の中の出来事ですが、一番速やかに整列できる学校としては、日本の中でもトップではないでしょうか。それは能力と意識の問題です。西高よりも学力が高いとされる学校もあるでしょうが、私の知る限り、早く整列しようという意識では劣ります。軍隊式の訓練を重ねた学校でもない限り、普段の体育館集合で本校ほど速いやまな事柄に全力で取り組んできたのです。皆さんにとつては当たります。皆さんはとつては当たります。皆さんはとつては当たります。

胸を張つて躍進を

PTA三年監事



PTA三年監事 小塙 三枝 第五十回の卒業おめでとうございます。西高正門での合格発表から早くも三年が経ちました。振り返つてみて、いかがでしたか。振り返つてみて、いかがでしたか。入学前から噂には聞いていましたが、勉強に部活動、学校祭をはじめとする充実した行事と、たいへん忙しい学校生活であつたのであります。三年間を振り返つてみると、しつかりと手応えを感じられることと思います。一年生になつてみて、三年生の先輩がとても大人に見えたことでしょ。どの行事でも手際よく丁寧に指導をして頂けたことと思います。気が付けば二年生となつてましたといふのが実感ではないでしょ。一年生になつて後輩ができ、アドバイスをする立場になると、三年生の先輩たちの段取りの良さ

本校の歴史の節目に卒業をしていく皆さん、ちょうど選挙権が十八歳となつた最初の学年でもあります。新しい時代を作り出していくください。当たり前と感じていい「西高基準」で頑張れば、社会へ出てから相当な成果を發揮するはずであります。高校生活のはじめの頃は、確かに苦しかったかもしれません、でも、鍛え上げられて今、本校を卒業するさんは、自信を持つて、新しい時代を創ることのできる人材なのです。

を改めて意識したことでしょう。来年は自分達がリーダーとなつて学校を引っ張つてゆく番なのだと、いうプレッシャーを感じながら、経験を積んでいったのでしよう。

そして三年生。団結力に満ちたこの学年のカラーや活動を活かし、後輩たちに伝統を引き継いでくれました。中には、つらい事もあつたでしょう。友人、先生方の心温まる励ましで、乗り越えてきたのだと思います。

この二年間は、私達保護者にとっても、素敵なお時間でした。勉強部活動に忙しく、家で過ごす時間は睡眠を除くと、実に短いものでした。しかし短い会話に「喜一憂し、共に成長し、充実した日々を過ごすことができました。これは、校長先生を始めとする先生方の心温まるご指導、ご助言のたまものと思つております。第五十回生の卒業にあたり、厚く御礼申し上げます。

西高生として全力で駆け抜けた三年間を自信の源として、これから的人生、胸を張つて突き進んで、いつて欲しいと思います。そして、今後は、西高同窓生として積極的に母校と関わつてください。必ず母校は、皆さんをいつまでも支えさせていただきます。

最後に、西高のますますの躍進と卒業生の皆さん的心と身体の健康を心よりお祈りいたします。

充実の三年間

北方支部 滝井 明子

「有難う」

津島支部 手塚 幸恵

期待に胸膨ませ入学した一宮西高校。毎日、部活で疲れた体に鞭打つて課題に取り組んでいる姿を見て、心配になつたこともあります。が、短期間で完成させた西高祭でのあなたのたちの眩しい笑顔から熱い感動とパワーをもらい、立派に成長していることを感じました。

卒業するあなたたちに、ゴルゴ松本さんの「命の授業」から心に残った言葉を伝えます。

人生には「苦難」「困難」「災難」「いろいろな「難」」が待ち受けています。難のない人生を「無難」といいますが、先人達は「難」があることを「有難う」としました。

西高祭や予餞会などの学校行事で味わつた達成感や感動は、何事にも代えがたい貴重な経験となつたことでしょう。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。西高で培つたものを糧に、この先大いに活躍されることを期待しております。

シユの英語授業がスタート、日本語がひとつも書かれていないテストや課題に驚きました。0限＆業後補習、休日学習教室に講座授業、厳しい中にも愛のあるご指導をして下さった先生方。最高の学習環境で三年間勉学に励むことができ、本当に感謝しております。

今こそ、挑戦のとき

尾西第三支部 阪納由香

この先、苦しいことがあった時は「有難う」とここの中へ唱え、これから的人生を西高での経験を生かし力強く乗り切って下さい。

それは「無難」な人生は一見幸せですが、「難」があることで何かを学びなさいという教えを「有難う」という言葉にこめたそうで

学校評価について

十月末始めに生徒及び教員に対しアンケートを実施し、「中間評価」を行いました。三学期始めにPTA役員・理事・生徒及び教員にアンケートを実施し、意見の集約を行いました。そのアンケートをもとに、各分野ごとの分析を行うとともに、「学年未評価」を出しました。そして学校関係者評価委員会を開催し、ご意見をいただき、「最終評価」を出しました。

今年度、十分な成果を得られなかつた項目については、次年度さらに改善に努めてまいります。詳細につきましては、一宮西高等学校公式ホームページ（学校紹介－学校評価－最終報告）に掲載してありますのでご覧ください。

意欲の涵養 確かな学力の育成
授業、補習等への積極的な取組
校外での学習活動の促進
グローバルな教育活動の取組
逞しい西高生 文武両道
学校行事への積極的な参加と取組
疾病、傷害の未然防止
教育相談体制のさらなる充実

品位ある西高生 時間厳守 挨拶勵行 人権意識の発揚 環境美化 智をみがく西高
高い志と強い意

本年度の重点目標として次の三
点を設定し、日々の教育活動に取
り組んできました。

平成28年度入試の出願状況

進路指導部

平成28年度の大学入試センター試験は、1月16日（土）・17日（日）に実施されました。本校でも、3年生353名の生徒が名古屋文理大学と修文大学の2会場でセンター試験を受験し、その自己採点に基づき各自の志望する国公立大学への二次出願を済ませました。その内訳は、前期日程328名、後期日程282名、中期日程4名というものでした。本校生徒の出願が多かった大学としては、前期日程では名古屋大学52名、岐阜大学53名、愛知教育大学28名、名古屋工業大学29名、三重大学25名、名古屋市立大学26名、愛知県立大学25名が、後期日程では、岐阜大学81名、三重大学43名、愛知教育大学35名、名古屋工業大学28名があげられます。全般的には地元大学中心の出願でしたが、東京大、京都大、大阪大など全国区の有力大学への出願も数多くあります。

昨年は、数学・理科の2教科で新教育課程が先行実施されましたが、今年は全教科で新教育課程でのセンター試験となりました。昨年に続き、理科の負担増の影響はありましたが、3年生諸君の頑張りで乗り切ることができました。1月23日（土）に行われた「出願校検討会」においては、各クラスの担任の精緻な資料分析のもとに活発な意見交換が行われ、翌日からの「最終面談」において出願校がようやく決定しました。難関大学を中心として二次試験重視の傾向が続いているますが、この後のSS授業でさらなるレベルアップをしてもらいたいとわれわれ教職員も最善を尽くしております。そして3年生の皆さんが十分な準備のもとに、28年度入試に果敢に挑み、西高の伝統に輝かしい足跡をまた一步刻んでくれることを期待するばかりです。学校としても学年団の教員を中心に、3月の後期試験の直前まで授業や補習や小論文指導を行い、生徒に十分な学力をつけるとともに、ともすれば不安になりがちな生徒を最後まで励まし、共に歩んでいきたいと思っています。

	大学名	前期	後期	大学名	前期	後期	大学名	前期	後期
國 立 大	北海道大	1		静岡大	4	2	神戸大	4	
	筑波大	1		名古屋大	52		奈良女子大	1	
	東京大	1		名古屋工業大	29	28	奈良教育大	1	2
	東京学芸大	1		愛知教育大	28	35	鳥取大	1	
	横浜国立大	3	4	岐阜大	53	81	島根大		2
	富山大	6	3	三重大	25	43	広島大	1	1
	金沢大	10	2	滋賀大	5	8	鹿児島大	1	1
	福井大	8	5	京都大	3		その他	4	1
公 立 大	信州大	4	3	大坂大	3	2	国立大計	250	223
	首都大東京	3	1	名古屋市立大	26(1)31		滋賀県立大	5	7
	福井県立大	2		岐阜県立看護大	2	2	その他	13(3)	7
私 立 大	愛知県立大	25	8	三重県立看護大	2	3	公立大計	78(4)	59
	青山学院大	8	日赤豊田看護	2	桜山女学園大	43	南山大	271	
	慶應義塾大	6	名古屋学芸大	2	中京大	71	名城大	214	
	中央大	5	愛知大	78	至学館大	4	同志社大	41	
	東京理科大	9	愛知学院大	12	中部大	29	立命館大	64	
	明治大	18	愛知医科大学	13	豊田工業大	4	関西大	17	
	立教大	4	愛知工業大	33	名古屋外国語	9	近畿大	1	
	早稲田大	12	愛知淑徳大	63	名古屋女子大	12	その他	86	
	岐阜聖徳学園	70	金城学院大	14	藤田保健衛生	58	私立大計	1260	
	短大	岐阜市立女子短	3	名古屋短	6	南山短	1	短大計	15
看護専門・各種学校				13	就職	0			